

Message from the Principal

鶴嶺高校のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。
校長の高橋です。本校は、昭和50年（1975年）に最初の入学生を迎え入れ、今年4月に第51期生を迎え入れることになりました。令和7年度も神奈川県から「グローバル教育研究推進校」の指定を受け、「国際的な視野を持ち、自主性と高い人権意識を身に付けた」生徒の育成を学校教育目標として、保護者・地域と連携しながら取り組んでいます。



その学校教育目標を実現するために、鶴嶺では様々な教育活動を実践しています。学校の教育活動は、「グランドデザイン」というものにまとめられ、このホームページに掲載されています。「グランドデザイン」には、グローバル教育、学習支援・進路支援、学校行事・部活動という3つの軸があり、鶴嶺高校ではこれらの「軸」を中心とした取組みを重点的に行っています。

【グローバル教育～「英語によるコミュニケーション能力の育成」～】

今、世界は予測困難で不確実な状況で、日本では信じられないことが、身近な国々で合法的に行われています。グローバル化したこの社会では、その影響はすぐに伝わってきます。そして、グローバル言語として英語は世界中で話されています。つまり、この社会に生きる私たちにとって、英語は「身を守るためのツール」ということが言えます。

鶴嶺では、特に英語で話す力・書く力を伸ばすために、全学年の授業で「英語パフォーマンステスト」を実施しています。また、1、2年生全員は、校内の英語スピーチコンテストに参加しています。この他にも外部検定試験の受験など様々な取組みを行い、生徒の英語力を育成しています。

【学習支援・進路支援 ～「深い学びにつながる授業」～】

英語以外の教科も、この予測困難で不確かな社会を生き抜くための「ツール」とであると言えます。生徒には「興味があるものについて質問することや、知りたいことを掘り下げて調べること」を奨励しています。グローバルスタディーズという総合的な探究の時間では、生徒は世界の諸課題と関連したテーマについて、その解決方法などを考えます。最終的にその成果を研究報告書にまとめ、優れたものについては、全校でのプレゼンテーションを通して、他の生徒とその内容を共有しています。

【学校行事・部活動 ～「学校行事等を通じた豊かな学び」～】

学校行事には、文化祭や体育祭のほかに、「ワールド・スポーツ・フェスティバル」という本校独自の取組みがあります。これは、コロナ禍で国際交流活動が制限されていたとき、「鶴嶺の国際の灯を消したくない！」と、国際交流委員の生徒が提案・実現したもので、キンボール、モルック、アルティメット、ボッチャ、トゥホといった世界のスポーツを生徒が楽しむものです。こういった学校行事などは、可能な限り生徒が運営し、その中で、多様性を認めて他を思いやる姿勢を身に付けています。

確かなコミュニケーション力

そして、こうした取組みや授業で必要になるのが、日本語での確かなコミュニケーション

ン力です。生徒には、多くの機会を通して、自らの考えを丁寧に伝える力を身に付けてほしいと考えています。ここで、令和7年度入学式と始業式で校長のことばとして、生徒に送ったメッセージを紹介します。

The world is changing fast every day.
In this changing world, you get a lot of information and a lot of ideas.

Sometimes, you should give your ideas.
But it may be difficult to give your ideas clearly.

So in Tsurumine, I want you to learn how to give your ideas clearly.
You will have many chances to learn it: in class or in school events.

Communication is important; especially face-to-face communication is very important.
I want you to understand it.

Then the future will be better.

Be cool; Be smooth.
It's always Fantastic Tsurumine.

令和7年4月 校長 高橋 正広